

令和2年度指導教諭による「指導力向上講座」①②

今年度より、指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、10月に行われた2つの授業力向上講座を紹介します。

【意欲的に運動に取り組む生徒を育てる場の設定の工夫と声掛け】

保健体育 櫻庭 美奈子 先生
10月9日(金) 一関市立磐井中学校

授業参観：器械運動「跳び箱運動」

実技講習：補助法

(1) 授業参観



「前方屈腕倒立回転跳び」の習得に向けて、「自分の課題に合った跳び方を工夫してステップアップを図ろう」と課題を設定し、図や教師の手本で技のポイントを確認したり、補助の仕方を確認したりした後で、技の練習に入りました。

技の練習では、①台上前転(全員)→②はね起きの練習(補助付き、一人で)→③ステージ上からののはね跳び→④

跳び箱上からののはね跳び→⑤通常の状態からののはね跳び、の流れで、それぞれの生徒が自分の技の習得度合いと課題に合わせて練習を行いました。



(2) 実技講習

実際の指導場面を想定し回転系の技の補助法のポイントについて実技講習を行いました。教師の補助法だけでなく生徒同士での補助法も取り上げました。

櫻庭先生の授業・実技講習から学ぶ指導のポイント

- 生徒の実態を踏まえ、開脚跳びや抱え込み跳び等、基本となる運動について単元を通して行い、個々の技能に応じた目標を設定し、生徒が意欲をもって取り組めるようにすること。
- 生徒が、自分の課題に合った場で練習できるよう、場の工夫を行うこと。
- 教師は、練習の場をくまなく回り、技のポイントについて助言や、補助だけではなく、他の練習の場にも目を配りながら指導すること。

参加者の声(一部抜粋)

- ・場の工夫と段階的な課題設定、そして、教師の安心できる補助で、生徒が積極的に活動に取り組む姿に多くの学びがありました。実技講習の補助法は、日頃からの疑問点などが解消でき、非常に有意義でした。
- ・優れた授業を見て、このような方法があるのかと感じても、実際に一人ではポイントとなる所が分からず実践できないことも多々あります。授業後に、実際に経験する機会があったこともあり、非常に有意義でした。

【授業ですぐに使える書写指導の基礎基本】

書写 大坂下 勝江 先生
10月23日(金) 奥州市立水沢小学校

講義・実技講習：「毛筆指導の基礎基本」

これからの書写指導 ～毛筆指導を中心に～

(1) 講義

書写指導の学習指導要領での位置付けや、各学年の指導系統、教科書の構成等について取り上げました。毛筆学習のねらいが、日常生活で整った字を書くためのものであることや、姿勢と筆記具の持たせ方との関連、正しい筆記具の持たせ方等、基本となる事柄の重要性について確認しました。



(2) 実技講習

道具の出し方、姿勢、基本の筆遣い、手本の見せ方・活用の仕方、指導の流れ、道具の後始末という実際の書写の時間を、動画や実物投影機を使いながら模擬授業形式で進めていきました。指導方法だけでなく、半紙の種類や筆の使い方等、普段の指導ではなかなか意識することがない部分についても具体的に取り上げました。



大坂下先生の講義・実技講習から学ぶ指導のポイント

- 書写の技能を高めるには、正しい姿勢で書くことや、筆記具を正しく持つこと等の基礎基本を、日常生活の中で繰り返し指導すること。
- 基本の点画の指導では、筆運びを分かりやすい言葉で具体的に示すことに加え、「とん」「すう」「びた」等、音で感覚的につかませることや、「穂先はどの方向を向いているか」「軸はどうなっているか」等、筆運びを具体的に子どもに気付かせること。

参加者の声(一部抜粋)

- ・学ぶ機会がなく子どもに教えることを難しく感じていた書写指導について、深く学ぶことがとても有難かったです。
- ・今の時期に書写指導について学ぶことができて幸せだと感じています。子どもにピンとくる言葉でどのように声を掛けたらよいかを理解することができました。すぐに実践したいと思います。
- ・子どもに分かりやすい言葉で教えること、基本がなぜ大切なのか分かり、明日から実践したいです。